



令和7年10月15日
高齢者事業推進課

第10期かわさき健幸福寿プロジェクトについて ～介護が必要になっても、「したい」「やりたい」をあきらめない！～

1 目的

現在の介護保険制度では、適切なケアによって要介護度が改善した場合、事業所が受け取る報酬が少なくなります。そこで、**高齢者の自立支援に向けた質の高いケアを評価する仕組みの構築**を目指して、平成26年度から取組を開始しました。

介護が必要になっても、「こんな生活を送りたい」という目標を持って、**介護サービス事業所と一緒に、その達成に向け、要介護状態の「改善」や「維持」を目指すこと**を目的としています。

2 取組期間・評価指標

取組開始時点(7月1日)と終了時点(翌年6月30日)の**要介護度、ADLの変化**を評価します。

結果に応じて、インセンティブを贈呈いたします。

市が保有する要介護認定のデータ等で評価を行います。報告書の提出等はありません。

3 参加資格

利用者:要介護1～5の認定を受けている方で川崎市の介護保険被保険者証をお持ちのすべての方

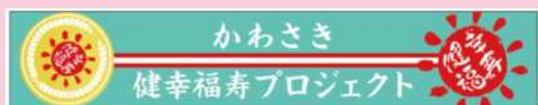
事業所:市内に所在する全ての指定介護保険事業所

※住所地特例の方は、対象外となります。

4 インセンティブ

利用者

- * キーホルダー(全員)
- * 参加の証(あかし)カード(全員)
- * 記念品 (金賞の方のみ)
- * 市長表彰(代表の方のみ)



事業所

- * 報奨金 5万円(金賞の場合のみ)
- * 市長表彰(代表の方のみ)
- * 成果を上げたことを示す認証シールの交付
- * 市の公式ウェブサイト等への掲載
- * 事例検討会等の研修会の実施
- * 応援サポーターによる事業所訪問
- * 事例集への掲載 など

お祝い会の開催
備品やレク材料の購入
研修会費用
担当者に付与 等
用途は自由です！



第9期表彰式の様子、事例などの
詳細は、特設サイトで



4 第9期の参加結果

取組期間：令和6年7月～令和7年6月

参加状況：13施設362人

取組結果：施設：金賞10か所、銀賞1か所、銅賞2か所

利用者：金賞33人、銀賞160人、銅賞169人

第9期御参加ありがとうございました！

- ・利用者インセンティブは10月中に施設宛てに発送予定です。
- ・報奨金の手続き書類の返送をお願いします。
- ・毎年11～12月頃実施しているアンケート調査にご協力をお願いします。

5 効果

第8期参加施設・居住系事業所のアンケート結果

事業所のプラスの変化



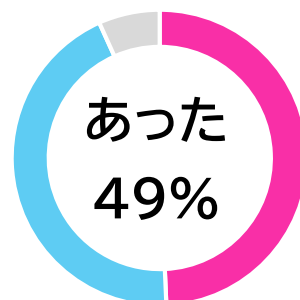
- あった
- なかった
- 無回答

(n=27)

事業所のプラスの変化の内容

- ・改善を意識したを持つ50%
- ・職員の意欲向上30%
- ・ケア内容に幅が出た21%

利用者のプラスの変化



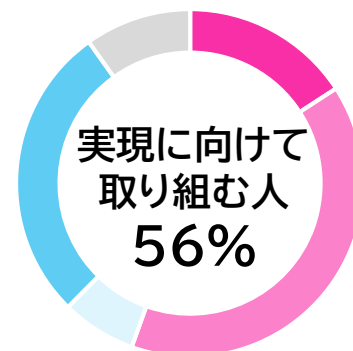
- あった
- なかった
- 無回答

(n=209)

利用者のプラスの変化の内容

- ・本人の意欲向上58%
- ・ADL向上31%
- ・家族の意欲向上26%

やりたいことの実現状況



- 実現した
- 継続中
- 実現しなかった
- やりたいことなし
- 無回答

(n=188)

質の高いサービスの提供に向けた職員の皆様の意識の変化等のきっかけのひとつとして、「かわさき健幸福寿プロジェクト」の活用をぜひ御検討ください。

6 第10期の参加について

取組期間：令和7年7月～令和8年6月

申込期間：令和7年12月末まで

申込状況：29施設246人(令和7年9月末時点)

申込は、市ホームページから、オンラインで受付しています。(書類郵送もあり)

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000152114.html>



おかげさまで
10周年！

みなさまの御参加をお待ちしています。

ご不明な点は、お問い合わせください。

【問合せ】高齢者事業推進課介護基盤係 044-200-2454